Newsletter
Vol.18
2012.DEC.
Graduate School of Mathematics
NAGOYA UNIVERSITY
名古屋大学 大学院多元数理科学研究科

ここ数年、同窓会活動が随分活発になってきています。単に相互の連絡交流や親睦に留まらず、次の世代の人たちを勇気づけ、励ます活動や、先輩、後輩の縦の繋がりを強めようという活動も数多く取り組まれています。今号ではそんな活動をいくつか紹介いたします。

第1回飛田賞受賞者決まる!

名古屋大学大学院多元数理科学研究科出身の若い研究者に対して、数理科学同窓会から贈られる名古屋大学数理科学学生奨励賞（飛田賞の第1回受賞者が決定しました。
2011年4月の名古屋大学数理科学同窓会総会において、学生奨励賞（飛田賞）が創設されました。この学生奨励賞（飛田賞）は名古屋大学数理科学同窓会が優秀な学生・若手研究者を讃える目的で制定され、同窓会の大先輩である飛田武幸氏（名古屋大学 名誉教授）にちなみ、飛田賞と名付けられました。この度第1回名古屋大学数理科学同窓会学生奨励賞（飛田賞）とし て「ワイル群の q 類似として定義されるヘッケ環の表現論の研究」における優れた功績により、和田堅太郎氏（33歳　愛知県春日井市出身）が選ばれました。
和田堅太郎氏は、2004年に理学部数理学科を卒業、2010年3月に多元数理科学研究科博士課程（後期課程）を学位取得修了し、京都大学数理解析研究所特定研究員を経て、現在は信州大学理学部の助教を務めています。
授賞式は2012年10月20日、名古屋大学ホームカミングデイの折りに多元数理科学研究科において執り行われ、数理科学同窓会長より記念の楯と副賞が贈呈されました。授賞式当日、少しでも後進の役に立てればと語る重鎮の謙虚さと、フレッシュで将来を期待される若手研究者が素直に受賞を喜ぶ姿を目の当たりにし、先輩から後輩へ脈々と受け継がれる確かなものをみた思いがして、とても清々しい気持ちでいっぱいになりました。

小崎和子

授賞式の様子

授賞式翌々日の2012年10月23日（火）に第1回飛田賞授賞式の記事が中日新聞朝刊に掲載されました。

19　愛知県版　2012年（平成24年）10月23日（火曜日）

第1回飛田賞

信州大の和田助教に
表現論で業績 評価

名古屋大数理科学同窓会が新設
卒業生で構成、飛田賞
賞を愛称とした。
第一回の受賞者とな
った和田さんは春日井
市出身、京都大を経て
二〇一一年から現職。
量子力学とも関連が深
い「表現論」の分野で
業績を挙げている。と
が高く評価された。授
賞式では、木村芳文同
窓会長が和田さんに賞
状を手渡した。和田
さんは「貴にふさわし
い研究者になれるよう
努力していきたい」と
話した。（中村禎一郎）

名古屋大数理科学同窓会が優秀な学生らを顕彰する目的で新設した「飛田賞」の第一回受賞者が、信州大理学部（長野県松本市）の助教（教授）となった和田堅太郎さん（33）に決まった。授賞式が二十日、名古屋市千種区の名大で開かれた。
同窓会は名大の大学院多元数理科学研究科博士課程修了者で、学部の理学部数理学科の計一千人以上の会員を擁する。
和田さんは名大の大学院多元数理科学研究科博士課程修了。二〇一〇年三月、名古屋市出身。京都大を経て二〇一一年から現職。
正式名称は「優秀生賞」。
賞状を受ける和田さん＝名古屋市千種区の名古屋大で

正式名称は「優秀生賞」。
賞状を受ける和田さん＝名古屋市千種区の名古屋大で

中日新聞掲載記事

受賞理由

和田氏の主要な研究テーマは，古典型Weyl群の拡張である複素鏡映群に付随するArki–Koike algebra $H_{n,r}$ 及び q-Schur代数 $S_{n,r}$ のモジュラー表現で、ワイル群の q 類似として定義されるHecke環の表現論の研究において重要な貢献をしています。和田氏は広く代数学の分野においても将来を嘱望される研究者であり、「これまでの業績」および「独創性と発展性」の双方の観点から研究が高く評価されたものです。

受賞者　和田堅太郎氏　喜びを語る

名古屋大学数理科学学生奨励賞（飛田賞）が創設され、その第1回目に受賞することが出来たことを大変嬉しく、また光栄に思います。まだまだ駆け出しの研究者で、自分の仕事をこなすことで精一杯の日々を送っている中で、このような形で自分の専門分野とは限らない方々にも私の仕事を評価して頂けたことは、大変励みとなり、今後もますますがんばっていこうと改めて思っています。
私が大学院に進学した頃に、ちょうど多元数理科学研究科では大学院教育の改革が進んでおり、少しでも学びやすく、研究しやすい環境を作ろうと、先生方がいろいろな取り組みをされていました。そのような環境の中で、大学院生として多元数理科学研究科で学び、研究できたことは大変幸運であったと感じています。
最後に、指導教員であった庄司先生をはじめ諸先生方、教育研究支援室の方々、多くの友人等に支えられて今の自分があることに、この場をかりて感謝致します。

和田堅太郎

受賞後記念撮影
左から　日比政博同窓会副会長、飛田武幸名誉教授、
受賞者 和田堅太郎氏、木村芳文同窓会長、小川和夫同窓会副会長

卒業生祝賀会＆卒業式懇親会

日時：2013年3月25日（月）　15時～17時（予定）
場所：多元数理科学棟 109号室
会費：3,000円
申込み〆切：2013年2月28日（〆切後は割増料金となります！）
後援：名古屋大学数理科学同窓会

卒業／修了を祝うとともに、同窓生として縦の繋がりを築いていこうと企画されるものです。現役の院生および学生が幹事を務め、当日は趣向をこらした出し物なども準備され楽しい会となる模様です。卒業生／修了生の方で懇親会にご参加ご希望の方は、
dousou@math.nagoya-u.ac.jp
までお申し込みください。

学生プロジェクト
～海外との交流も盛んに～

年末が近づき、学生プロジェクトの活動期間も後半戦です。出張の多い夏が過ぎ、秋は学生プロジェクトのメンバーがセミナーを開いて、学内外の研究者と交流する姿が目立ちました。 田島ひかる

◉ KLR多元環の将来を見据えて

小西正秀

ビーレフェルト大学屋上にて

八月にビーレフェルト大学で行われた国際研究集会ICRA2012に参加しました。発表後の質疑応答ではKLR多元環の”開発者”の一人、R.Rouquier氏から質問をいただき、”広報担当”の一人としてとても喜ばしい経験となりました。

◉ 数論的な体の総合的研究

島田佑一

本プロジェクトでは国内外への研究集会への参加と、「鏡が池の整数論セミナー」の開催を中心に活動を行っています。このセミナーでは整数論を中心とした幅広いテーマについて、学内外の研究者に講演していただいており、プロジェクトメンバーの研究に大変役立っています。

◉ Analytical, Geometrical and Stochastical Aspects of the Bergman Kernel

足立真訓

勉強会風景

勉強会「Bergman核の漸近展開と複素幾何」に東大GCOEの援助も受け、参加しました。同年代の若手で手分けし、強擬凸領域上のBergman核の漸近展開を論じたFeffermanの原論文を中心に、その周辺の話題を勉強しました。

◉ 多元環の表現論に現れる三角圏の構造解析

足立崇英

本プロジェクトでは、定期的に三角圏に関するセミナーを主催しています。多数の研究集会に参加しており、信州大学で行われた「第45回環論および表現論シンポジウム」ではメンバー全員が講演を行いました。今後もセミナー・研究集会等、精力的に活動していく予定です。

◉ Nagoya-Tongji Joint Workshop On Bergman Kernel

Yanyan Wang

Workshop参加者とともに

On this workshop, we have got much useful information about our studies and had a chance to get in contact with the Chinese researchers in function analysis of several complex variables. This promote the exchange between China and Japan in complex analysis of several variables.

BBQパーティで交流を活発に

BBQに集まった大勢の学生

毎年恒例のBBQパーティーが学生の有志により開催され、屋内外に設けられた会場には多くの学生と教職員が集まりました。有志のみんなの準備の甲斐もあり、終始なごやかな雰囲気のなかパーティーが進行されました。

今年はいつもより少し遅い時期の開催ということもあり、後半になると気温が下がり肌寒さが否めませんでしたがコンロの周りに集中し、より近い距離で交流できていたようです。参加学生から「しばらく会っていなかった友人と久しぶりに話ができたよかった」と言う話を聞きました。友だちとの集いはもちろんのこと、新しい友人作りの場としてもっと活用されることを願います。 片田栄里

秋の公開講座 ～新しい試みを取り入れながら～

指導にあたった博士研究員とともに

今年も「数学公開講座」が10月27日（土）、11月10日（土）、11月17日（土）に開催されました。夏の数学アゴラから引き続き質問時間を設け、少しでも講義内容を理解してもらえるよう工夫しました。この試みは2名の博士研究員が中心となり本学の学生であるTAとともに、高校生のプレゼン指導および疑問解消にあたるもので、参加者に大変好評でした。本講座を受講するような意欲ある高校生は、おそらく数学が得意な学生だとは思いますが、1対1の受け答えだと、予想外の質問が飛び出し教える方も勉強になるのではないでしょうか？　参加者には高校1年生もいますし、予備知識がない状態での質問は意表を突いてそうです。中学・高校の教師を目指している学生は是非来年TAに応募してみてください。もちろん、それ以外の学生も大歓迎です。きっといい経験になりますよ。 田中美穂子

レディースランチ
～女子学生のためのリラックスタイム～

レディースランチ

伊藤由佳理先生が2003年秋に開始したレディースランチは、今年で9年目。始めたきっかけは、当時修士課程に在籍していた女子学生から、女性同士集まって一緒にご飯を食べたり勉強したりしたい、と相談されたことだそうです。現在、毎週水曜日に多元数理科学棟の進路情報室で、女性限定で教員や学生が集まって一緒にお昼ご飯を食べています。取材に訪れてみると、お弁当やパンなどそれぞれ好きなものを持ちよって、来た人からマイペースにランチタイムを開始していました。数学の専門的な話題が多いのかと思っていたら、フランクな日常の話題が中心で、笑いの絶えない雰囲気でした（時には真面目な話もしますよ、とのことでしたが）。学生さんにお話を伺ってみると、「女性の知り合いが増えるだけでなく、情報交換もできるし、同性だからこそ盛り上がれる話題、共感してもらえる話ができる。話がはずむのが嬉しくて、なんでもっと早く来なかったんだろうと思った。」とのこと。伊藤先生によると、女子学生は数が少ないため孤立してしまいがちで、手に入る情報が少なくなってしまうこともあるそうです。他の人から情報を集めたり、心配事をちょっと話してみたり、女性同士、気軽に情報交換できる場としてレディースランチに参加してほしい、とのことでした。ガラス張りの進路情報室で明るくにぎわっている様子が廊下から見えるせいか、男子学生に「レディースランチに参加してもいいですか」と聞かれたことも何度もあるそうです。興味を持った女子学生のみなさん、あなたもぜひ参加してみませんか。 田島ひかる

留学生交流イベント “日本の文化を体験しよう”

みんなでお菓子づくり

お茶を点てる
朴鉉美さん

昨年6月にスタートした留学生交流イベントも今回で4回目。前回の「書道体験」が好評だったため、今回も日本の”道”を感じてもらえる体験型のイベントを企画しました。
テーマは「茶道」。まずは、お茶うけの芋きんとんを全員で作成…初めての和菓子作りに悪戦苦闘する姿もありましたが出来上がりはとてもキレイ!花柄の懐紙に載せた様はまるでプロの作品のようでした。
お茶のお手本を見せてくれてたのは多元数理科学研究科（D2）・留学生の朴鉉美さん。学部生時代に茶道を学んだという朴さん、お茶を点てながら動作の意味や、道具の使い方を説明してくれました。
即席の茶道部ではありましたが、日本文化を知ってもらう一助になったのではないでしょうか。

片田栄里

グローバル30　新任教員の紹介

デモネ先生の授業風景

グローバル30のプログラムに参画する教員が1名加わりました。ローラン・デモネ先生です。10月から授業も担当している先生にちょっとお話を聞いてみました。

Q. 実際に授業をされてどんな感想をお持ちですか。

A. 学生に教えることは面白く、多くの問題を扱っています。出身国によって学生のレベルが異なり、戸惑うこともありますが、学生たちの学力や個性については徐々に理解できると思っています。大学院の学生には「美学的な数学」というものを知って欲しいですね。

Q. G30の教員に着任する以前の経歴を少し話してもらえますか？

A. フランスのカーン大学で学位を取得したあと、ドイツのマックス・プランク研究所で1年間をすごしました。そのあと、JSPSの外国人特別研究員として名古屋大学に来ました。専門分野は「有限次元な代数」で、いまは「クラスタ代数とその圏化」に興味があります。

Q. 日本での滞在はどのくらいになりますか？
また、日本に来て印象に残った出来事、好きな食べ物などについて教えてください。

A. 日本での滞在は2年になります。出身はフランスです。一番印象に残ったのは2011年3月の地震だと思います。日本の人たちが我々が想像するほど恐怖やパニックをおこさないことに驚きました。日本に来て好きになったのは「魚料理」です。

※デモネ先生には日本語で答えて頂きました。

野地賢一

秋入学の留学生紹介 ～魅力ある大学であるために～

最近、秋入学という言葉が話題になっています。なぜでしょうか。それは、世界が、国境を越えて人や物が行き交う時代、グローバリゼーションの時代となっているからです。世界の約7割の大学が秋入学ということを考えると、学生が海外留学をしやすくなり、あるいは、世界から優秀な学生を集め、日本にいながら異文化と触れあう機会をつくることができるといったメリットがでてきます。
学生時代に本当に大切なのは、入学してから過ごす時間の密度の濃さ、そして将来の可能性を探ること、なのではないでしょうか。秋入学は、将来の可能性を広げるひとつのきっかけとなるはずです。
多元数理科学研究科にも、この秋、2名の入学者がありました。日本人1名、そして、昨年から既に始まっている秋入学、すべての授業を英語で行G30プログラムでの入学者1名です。G30プログラムで入学した董欣さんは、「名古屋大学は研究環境が魅力的。入学してからほとんどの時間を研究に費やしているが、みなさん親切なので助かっています」と話してくれました。
研究科の魅力を高め、学生に入学したいと思ってもらうには、教職員のグローバル化、受け入れ態勢のさらなる充実が必須です。
時代の変化に臆することなく、フレキシブルにその変化に適応していく力が我々教職員にも求められているのだと再認識し、ますます精進していかなくてはなりません。
桜の季節に入学式を行っていた昔日を懐かしむ日がやってくるかもしれませんね。

渡辺ゆかり

名古屋大学数学教室 企業研究セミナー・ミニ同窓会

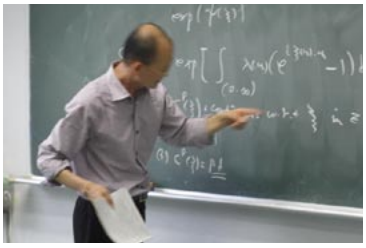
名古屋大学数学教室のOB・OGを中心とした方々を講師としてお招きし、在校生に対して会社の説明や就職に関する相談に応じて頂くというのがこのセミナーの主旨です。冒頭、就職に関する全般的な説明があったあと、金融系、IT系の2グループに分かれてセミナーが行われました。就職をまじかに控えた学生にとってはOB・OGと直接面談できる良い機会であり、一般の学生にとっても、数学がどのような形で社会に役に立つかを考えるよい機会だったと思います。
セミナーでは、企業説明と学生の就職相談に応じるというだけではなく、諸先輩方が今の職業・会社を選んだ理由、仕事を通して学んだことや、現在の社会情勢と企業の在り方を伺い知る興味深い話などもして頂きました。
セミナーの後はミニ同窓会も行われ、打ち解けた雰囲気の中、さらに交流を深めることができたようです。

野地賢一

ミニ同窓会

企業研究セミナー

名古屋大学数学教室 在外学友招聘プログラム


セミナーで講演する李桂成教授

過去に名古屋大学理学部数学科・多元数理科学研究科に一定期間滞在し、現在海外で教育研究活動を続けている数学研究者を短期間招聘し、国際交流を活性化することを目的として、名古屋大学数学教室在外学友プログラムが新しく導入されました。名古屋大学理学部数学科・多元数理科学研究科の卒業生／修了生および名古屋大学理学部・多元数理科学研究科の在籍経験者、長期滞在者を対象としています。その第1号として、1980年代に理学部数学科に滞在経験を持ち,現在韓国高麗大学の教授として研究活動を続けておられる李桂成（Lee Kei-Seung）教授が8月上旬に多元数理科学研究科に招聘され、セミナー等で講演および共同研究を行いました。確率論関係では李教授の所属する高麗大学とは長年にわたり研究交流があり、今回の交流プログラムにより更なる交流促進が期待されます。李教授は2013年1月7日から9日に愛知県立大学で開催される国際会議にも出席予定です。
こうしたプログラムの実践により、国際的人材ネットワークの基盤につなげ、留学生・研究者の交流をはじめとする学術交流の一助となることが期待されます。

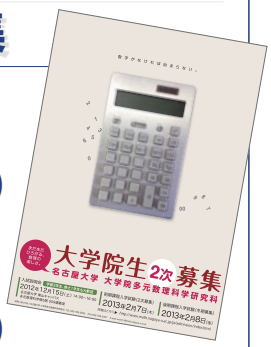
小崎和子

多元数理科学研究科より

入試情報

名古屋大学大学院 多元数理科学研究科

大学院生2次募集



前期課程
入学試験（第2次募集）
2013年2月7日（木）

後期課程
入学試験（冬期募集）
2013年2月8日（金）

願書受付期間
2013年1月7日（月）～1月21日（月）

～後期課程入進学相談会開催中～

10月から12月まで毎月1回後期課程入進学相談会を行なってきました。1月は1月19日（土）に開催いたします。事前登録など詳細は以下のウェブページをご覧ください。（当日の飛び込みでの参加も歓迎いたします。）

http://www.math.nagoya-u.ac.jp/ja/admission/2013/dc-meeting.html

お問い合わせ先 名古屋大学 大学院多元数理科学研究科

TEL：052-789-2833　FAX：052-789-5397
E-mail：exam13@math.nagoya-u.ac.jp

就職進学説明会　10/24

就職進学説明会

進路を考えるに先立ち、毎年10月に数理学科・多元数理科学研究科の学生を対象とした講演会を行なっています。
研究科からの説明に加え、名古屋大学就職相談室の教員による講演、今年実際に就職活動・前期課程の入試受検・教員採用試験などを経験した学生による体験談が話されました。
これから就職活動を行うみなさん、まずはメルマガの登録からはじめましょう。
研究科の進路情報室もぜひ、ご活用ください。　片田栄里

メルマガの登録はここから ⬇
http://syusyoku.jimu.nagoya-u.ac.jp/merumaga/

数理学科説明会　11/7

数理学科説明会懇親会

理学部1年生を対象とした数理学科説明会を開催しました。
理学部では2年進級時に学科分属を行います。数理学科では、数理学科への興味・理解を深め来年度の学科分属の参考となるよう講演会および懇親会を行いました。
はじめに「現代の数理科学」「数理学科の特色・講義内容」「就職・進学状況」について教務委員長が講演し、続いて3名の数理学科4年生による卒業後の進路に関する体験談が話されました。
説明会後には、お茶とお菓子を囲みつつ終始なごやかな雰囲気のなか懇談会が行われました。　片田栄里

教育研究支援室より

大学卒業後、神戸・大阪の保険会社で働くこと十数年。
会社のランチは大阪駅界隈のインドカレーを堪能していたところ、
思いもよらず海外赴任帯同で南インド・バンガロールへ行く事に。
約3年の滞在から昨年帰国、ちょうど1年になります。

夜になると徘徊する犬、ゴミを漁る野良牛。通りには山羊、羊、鶏に豚。ベランダには猿も登場。ラクダがなぜか車道を歩き、「我先に!」と入り乱れ走る車。
頻繁に起こる停電。日本食材も手に入らず、日本ではありえないトラブルも多々発生。自分で解決すべき事もあり、同じく滞在している日本人やインド人に助けてもらう事もありました。

中でも特にお世話になったのが70代のインド人女性です。元高校の生物教師をされていた方ですが、お会いするとホッとする雰囲気をお持ちで、あまりにも様々なトラブルが起こって精神的にまいっていた時支えて下さいました。
人種や宗教、教育や国も違えど、人そのものは変わらないような気がします。

この春から支援室・事務室の皆様に色々と教えて頂き、お世話になり、感謝しています。
これからもどうぞ宜しくお願いします。

隠家英子

編集後記

先日留学生交流イベントにてお茶会を催したのですが、その準備中に茶道について調べていると、ある四文字熟語を見つけました。その熟語は「一期一会」。細かい解釈は違えど、大意は「人との出会いを一生に一度のものと思い、相手に対し最善を尽くす」、このような意味で書かれていました。いつでも全力投球での対応を心掛けたり、出会う人たちとの時間を大切に、と再認識した年の瀬となりました。皆さんにとって2012年はどのような年でしたでしょうか。
年末は、断舎離でもして、新たな気分で新年を迎えたいものです。　渡辺ゆかり

名古屋大学 大学院多元数理科学研究科
〒464-8602 名古屋市千種区不老町
TEL（052）789-2833　FAX（052）789-5397

企画編集　教育研究支援室